夕刊 磐城新聞
四月二十三日發行
(日曜祭日翌日休刊)

『葱坊主』の讃(上)

千葉省三氏第二童話集を讀みて

島田忠夫

千葉省三氏の近著第二童話集『葱坊主』が古今書院より出版された。續いて第三童話集の出版されるのも、間があるまい。その作品の一部は、既に本紙にもしばしば掲載されて、讀者諸君には既におなじみ深い所でもあらうと思ふ。

○

千葉省三氏は、歌人アララギ派故島木赤彦先生が存命中、その傍ら創作された童謠を專ら發表された雜誌『童話』の創刊來の編輯者であつて、日本の創作童話作家中の元老でもある、何故なら、大正七八年頃からのいはゆる童心文學の新興期にあたつて北原白秋、西條八十、野口雨情などの諸氏によつて童話が花々しく新興氣運に向き、一世の興隆と流行を見たやうに童話界にも又古きお伽話の先生の手を離れて、新たに創作するといふ童話作家の氣運が動いた。

『赤い鳥』の鈴木三重吉、『童話』の千葉省三、北村壽夫、少し遲れて山村暮鳥、小川未明が活やくして始めてゐる。かくの如く、千葉省三の名は既に大正七八年に斯界には重きを成してゐた。又、『童話』の名編輯者として、前記島木赤彦先生及び島崎藤村氏などの信用を得てゐたのである。

○

この古き千葉省三氏が、今の如く作品の上に新味と一大變化を來し、全く在來のお伽話童話の形を破つて創作童話として傑れたる獨自の道を拓いたのは實にこの數年來である。乃ち先の第一童話集『トテ馬車』(昭和四年)が刊行されてから千葉氏は一種の自信と喜びを得た。又作品の上に、動かせない一つの大盤石の如き重みと、光をあはせ得たのであつた。

○

いま『トテ馬車』は、長野縣はじめ數ヶ所の小學校用副讀本として採用されるに至つてゐるのである。

千葉省三氏の童話は、あくまで質朴である。あくまで土の匂ひのこもつたものである。そして多分に、非チヤアナリズム的なものである。童心の輝りにあふれた、實は深き深き思索によつて到達した純眞の境である、ゲーテの力說した純粹な感念である。

千葉氏自からは『ごくありふれた人間生活の光や影を、童心のプリズムを通して描き出して見ようとした!』といひ、また『爐ばたでひざッ小僧をむき出しにした子供が、頬つぺたをまつ赤にほてらしながら、さうした村童に讀んで貰ひたい!』とも云つて居られる。しかしその作品の隨所にはわれ〱大人の心を洗つて吳れるやうな尊い卑淨なるエクシタシイの境が展開されてゐるのである。これこそ、われ〱大人も必讀すべき童話であると思ふのである。

○

(註)『トテ馬車』東京神田駿河臺西紅梅町十一古今書院發行、定價九拾五錢。

時代警語

○正直は最上の方便である……(ワシントン)

正直と云ふのは何も其人の主義では無い。生れついた天分である、併しこの正直を楯として一本調子に直進すれば世間と接觸して往々衝突する事がある、要する、場合によつては融通のきく正直であらねばならない

春の野

須々木美佐

一、黄色い菜の花み下して
何處かでひばりが鳴いて居る
ピイチク〱ピイチクリ
のどかな春を歌つてる

二、野邊に語らふ初戀も
花にたはむる蝶々も
一しよに春を歌つてる
香ににほふ春の野を

三、花も咲かずに散りかゝる
たつた一人の彼の人に
みせてやりたい此の春を
香ににほふ春の野を

童謠詩 秋蠶かふ村

原田小太郎

風に吹かれて
青葉
とげとげはゆれて光る
蠶室は
桑なさざむか
行燈に灯りを入れて
カナカナは
まだ鳴いてゐる
梨の樹のつめたい梢に。

社會の今日

4月24日

△露人蝦夷侵寇(文化四)△石清水以下八幡大菩薩の稱號を止め八幡大神と稱せしむ(明治元)△始めて普く種痘を行ふ(同三)△婦人公民權案貴族院本會議で否決△佛國のアジ、探險隊パリ出發△全印國民議會開會(昭和六)

拈華微笑

戰捷の春に一段光る山崎聯合分會長の表彰 ◇ 平町の道路改修でアワヤ與の下を乾ソーとした勞働者助かる ◇ 野田の玉川百姓泣くなり ◇ 落花流水。昨今の新川を狀して餘濫無し ◇ 花、博覽會、野球等、等の爲氣が揉める明日曜の天候

講談 お蘭陀お蝶 (12)

渡邊默禪 作
布施長春 畫

すみぞめの夕山櫻影ひたす川瀨の波に小鮎跳るも 乾 政彥

須磨の山源平躑躅咲きにけり 怒愛庵

長崎を幕府の直轄にして初めて奉行を置いたのは慶長五年で、其の任官の嚆矢は寺澤志摩守、外に村山安東と言ふ代官があつた。後屢々更迭して寛永十年から我の外に今村傳四郎正長の二人役となつた、外に長崎會所と云ふ自治体の役所を設け町年寄四人が市政を束ね、又各町に乙名一人組頭二人、目行事一人の地役人があつて町民から公選したものだ、吾邦で最も古く自治制を布いて而も完全に發達したのは長崎である。奉行に隷屬してゐる政務官は御勘定方、御鐵砲方、御船頭、遠見番、唐人番、船番などで町方の乙名も其の指揮を受けてゐた、正德年間になつて始めて御目付を派遣したが、其の頃は未だなかつた

此の晩、虎屋に丸山の目行事で定之助と云ふ男が來てゐた、それが三人連れの擧動を襖越しに見聞して頗る怪しく且つ癪に障る奴だと思つた言ふ迄もなく將軍家の御紋所を利用する大詐欺師、油斷をすれば無錢遊興もしかねない玉だと睨んだで直ぐと町の乙名へ駈付けて其れを通じたが相手は杜騙にもせよ侍我々の手では行かぬと、乙名は更に立山の奉行所へ密告した。當番與力但馬が來たのは是が爲めである。

『お〻旦那さま、よい所へおちやりました、今の太夫がどうやらしたといふて、きつい立腹、首を斬るの、胴を斬るのと暴れ居るげな、あれ〱彼の聲が爾ぢや早う去んで下され、ォ、怖いあの分では家中の者皆んな膾にされますぢや私は殺されるのはいとひはせぬが跡で吉さんが泣くやらう思ふと、そいが未練でな』

松の間から轉げる樣に逃げて來た、客留女のお艶がべつたりと廊下先に坐つておど〱しながら後を指す

『これ、この矢先きに何を申す、阿房者奴、む、太夫な斬るなど狼藉な働き居るか、よし懸念ないたすまいぞ、退けッ!手摑みにいたしてくれるわ』

『いえ退けと云はれても立てんがの』

『如何いたした』

『コ、腰がな』

『拔けたか』

『あい』

『ハッハッハ、脆い女奴』

目行事の定之助を先きに四人の同心を隨へて但馬は突然其の座敷へ躍り込んだ恰も宅兵衞が言葉をつくして和め立てゝやつとのことに元の席に連れ戻つたところ薄雲は亭主文藏の機轉で次の間に追ひのけた跡であつた。

『何者ぢや!』

と見て從者の宇平次が誰何立てた、但馬は默つて座敷の中央に闖入した一人の同心は其の側にすつくと立ち塞がつて朱房の十手を拔きながら

『此方は御身達に不審な廉なあつて吟味のため罷り越された奉行附きの與力殿ぢや、御用の趣神妙に承れい!』

とお先觸れの威勢を張る

『何ぢや奉行が……』

從者二人は顏を見合せた

『宅兵衞、與力殿とな面白い苗字のあるものぢやのう!』

若殿は從者を顧た。

『いや、苗字でがな、おざり申さぬ、與力とは役名で!』

『ホ、役名か、何役な相勤める者か、逃ひつかわしても苦しうはないが布衣以上か、祿は何程か身分格式を尋ねて見い。』

『こりや〱何を諄々語ひ居る、此の方の申聞けることと耳にも入れず、酒な飲ひながら話してゐるとは不屆な振舞、こりや何故笑ふ?何が可笑しい無禮者奴』

ラヂオ

…二十四日(日曜)… 仙臺 JOHK

△前九、〇〇A 氣象
△九、一〇A 榮養料理(單位式にした天井)榮養研究所
△九、四〇A 軍人勅諭下賜五十年記念祝典狀況(一、式場參列員整列 二、大元帥陛下臨御(午前十時喇叭『氣を付け』內側二重橋通御の際)三、敬禮…喇叭一聲、外側二重橋通御の際。陸軍々樂隊(君ヶ代)二回吹奏 四、祝典開始『奏上』…海軍大臣 五、式辭朗讀…海軍大臣 六、勅諭奉讀…陸軍大臣 八、萬歲奉唱…內閣總理大臣 九、祝典終了『奏上』…海軍大臣 一〇、大元帥陛下還御 一一、敬禮(喇叭一聲『君ヶ代』吹奏) 一二、解散(喇叭『解散』)この時式場東方上空を陸海軍飛行機二百餘台祝賀のため編隊飛行にて通過する豫定
△一一、一〇A 謠曲講座(宮城二重橋前より中繼) 實演…櫻間金太郎 解說…池內信嘉
△正午A 時報 氣象
△後〇、三〇A ニュース
△〇、五〇 愛國第十五十六號飛行機命名式實況(宮城原式場より)
△二、〇〇 六、〇〇A 運動競技(六大學野球リーグ戰試合狀況)
△二、三〇A 放送舞臺劇(吉樣參由緒音信) 市川吉三郎(運動競技なき場合)
△三、四〇A 氣象
△四、〇〇A ニュース
△六、〇〇C (子供の時間)ラヂオドラマ(御殿樣)
△六、三〇A 時事解說 名古屋ABC座
△七、〇〇A ニュース 花の便り 氣象
△七、三〇A 講演(勅諭奉戴五十年を迎ひ奉りて)陸軍大臣荒木貞夫
△八、〇〇A 箏曲(新曲三勇士)松居松翁作詞、今井慶松作曲、今井慶松、同慶子、吾孫子松鳳
△八、二五A 浪花節(乃木大將陣中の別れ)津田清美
△九、〇〇A 薩摩琵琶(廣瀨中佐)吉村岳城
△九、三〇A 時報
△九、三一C 奉天より
△九、四〇A ニュース 氣象

花環の御用命は 新らしく安い! 橋本屋造花店へ 平新川町 (電一六三)

吉田眼科病院 平町紺屋町

此度聚樂館南隣りの『世界』と云ふカフエーを私の姉が經營する事になりました。姉は人の好い割に不運な身の上でした弟として私は何とか幸福な老後を送らせ度いと存じます。何卒皆樣ひいきをしてやつて下さい。
辱知各位 伊東一

內科、小兒科 花柳病科 入院應需 藤沼醫院 平町紺屋町 電話平長五〇七番

どくだし 濟生 のお蔭でいつも氣分が晴々…實によく諸毒を下し、血を淸新にします……。 一週間分 九十錢
天授の奇方 肋膜炎の妙藥 健やかなれ朝夕……るいれきにもよろし。 一週間分 一圓八十錢
◎檢査致します。 皆樣お使の白粉中に有毒な鉛が入つて居りませんか?無鉛とわかつてから、それを永續してお使用になるのがお爲です。
平町二丁目十六(電話三二六) 堀藥局

產科 婦人科 花柳病科 午前宅診 午後往診 入院應需 井阪醫院 平町田町(元合津醫院跡) 電話五五九番

肺一期二期の人、ロクマクの人 心配無用……
不治の病とは過去の事です。醫藥を用ひて捗々しくない方靈能偉力を有する『マムシ』を用ひて下さい。但し素人の幼稚なる『マムシ』の服用法にては効果ありません。今回研究部員が秘法公開致します遠慮なく相談にお出下さい。
◎特におすすめ致し度い方說明書差上ます。
心臟病の人、胃腸病の人、性力欠乏の人、神經衰弱の人、体力の衰てる人、食慾なき人、冷性婦人病の人、腎臟病の人
東京市淺草田島町九一川上蛇類研究所
代理販賣所 平町五丁目二二(金光堂時計店裏) 井內

生花教授 池ノ坊流 生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。 平町四丁目和泉屋旅館 須藤まつの

內科、小兒科 市原卯太郎
外科、一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋疾 皮膚病 市原三男
平町田町本通 (入院隨意) 市原醫院 電話一一四番

專門大家が畢生の苦心 絕對の『治淋藥を完成』强力の注射原藥を內服さす。 創製者 間部熹
責任保證 リン病 消渇 間部淋藥
初期にてウミいたみ、コシケある方は勿論ツマラヌ家傳藥危險な注入藥熱療器等に懲りた慢性患者は必ず此藥の卓越性を發げんす
淋菌は此の藥位强烈でないと死滅しない
(特長の一)此藥は性病ひ尿科の大家特に淋病消渇治療の權威東京銀座一間部醫院長間部かほる先生が畢生の研究の結晶なり
(特長の二)先生が病院で毎日患者に使用してゐる獨特の注しや原藥を主劑として之に洋漢藥の粹が配され殺菌力强大なり
(特長の三)服用後强烈な殺菌力を有する注しや原藥が全部尿に混り放尿毎に尿道粘膜下の深部の淋菌迄撲滅す
(特長の四)患者じ身の洗じよう注入は慢性やコウ丸炎又は婦人ならばうこうカタルになる恐ろしい危險があるが本劑はし然に內部から尿により洗じようされ菌を一掃するから絕對その心配がない
(特長の五)じよう劑の藥効が强いに絕對副作用なく安心して服める
(註文)は來訪カワセ振替代引でまうし込次第急みつ送す
【藥價】一週(輕症)參圓 惡性(五圓) 送料十二錢
(各種有名賣藥アリ)
縣下一手販賣店 星製藥磐城配給所 ホシチエーンストアー平支部 平町三丁目舊郵便局隣 電話四二九番

夜間診療
胃腸 內科 十二指腸潰瘍 專門 內科部
梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院 (平南町電話一〇七番)

當地方唯一ノ集金會社が出來マシタ
一、集金代理部
○各商店會社組合等ノ集金代理ヲ致シマス
○債權取立代理トハ全々性質ガ違ヒマス、他ニ類例ノ無イ組織方法ニ依ッテ皆サンノ御用達ヲスルノデ營業取引ヲ害ス樣ナ御心配ハアリマセン。
○詳細ハ御來社又ハ御通知下サレバ社員ヲ御伺ヒ致サセ說明ヲ申上マス。
二、仲立部
○商品、土地、家屋ノ賣買仲立
○土地ノ賣買價格、收穫高、小作料、賃貸料調査鑑定
○其他一般仲立
三、金融部
○金錢貸付、有價證券賣買
○各種債權取立
○堅實正確ナル債權回生ノ機關デ御座イマス
合資會社三共商事 平町大町一(舊公會堂池前) 代表社員元稅務署屬 高橋義

攻守何れも善戰健闘
晴れの競技に覇を爭ふ
逝く春の平商第一兩校庭で
平青年分團對抗野球大會

平青年團主催マルカ書店後援の第一回優勝旗爭奪分團對抗軟式野球大會は昨報の如く明二十四日の日曜をトし午前八時から新綠近き平商、第一兩校庭に於て開催するが參加チーム十三組、昨二十二日平庶民金庫樓上のキャプテン會で左の如く組合せ決定した、尚ほ明日は午前八時入場式を行ひ多田井團長の始球式により試合に入る筈であるが今シーズン最初の試合だけに日曜を利用する多數ファンの熱狂を沸騰點に導くであらうと豫想される

第一回戰（第一校庭）
新川町……材木町
紺屋町……長橋町
胡摩澤……二丁目
一丁目（不戰一勝）

第一回戰（平商校庭）
白銀町……田町
十七區……五丁目
南町、四丁目（不戰一勝）

尚準決勝、決勝戰は翌二十五日午前八時から同球場で行はれる

手數料節約の爲
移出を好まぬ
地方農村と生產米

穀物檢査所平支所では移出米檢査料俵當り十錢、生產米檢査五錢の手數料を徵して居るが現在の農村は財政困難のため殆んど自家用の食米まで手放しつつある狀態で自然米檢査の儘手放し得る地方消費米に向くるのが遙かに有利なために最近受檢米が頓に激減し昨六年中の總收穫高十六萬二千四百四十九俵中受檢米は僅か一萬俵內外に過ぎず檢査所の經費と殆と收支相償はず現在の所員四名は些か手持無沙汰の形である

平監督所長から
數項の改善提案
廿五六日の土木會議へ

縣土木監督所長會議は二十五、六兩日福島で開催されるが平監督所の提案次の如し

一、橋梁架換費增額要求　從來指定工事に依る架換工事實施の狀況を見るに一監督所一ヶ年一橋或は二橋なり當土木監督所の例に就て見るに橋梁數四六一橋にして一ヶ年架換二橋宛としても二三五年掛らざれば全部の架換を了さざるものなり斯くては將來交通機關の增加に伴ひ完全なる橋架に維持し難し依て明年度より架換豫算相當增額要求する

二、道路局部改良　昭和三、四年度の局部改良費ありて急曲線其他局部的改良をなし來りしも現在は廢止され加之普通修繕費不足の今日之れが復活を必要とす

三、道路橋梁普通修繕增額配當　普通修繕費の御配當に就ては相當考慮の上夫々御配當の事とは存ずるも當平監督所の如きは昭和四年以來新路線の認定數十路線其の延長六七、八八五米なり且つ交通狀態は昭和六年現在に於て左記の數量を示し全く縣下第一の交通繁激を極めつつあり道路は每年延長し之に伴ふ豫算は三四年前より配當額少なきに依り道路の維持上支障尠なからず且つ危險橋梁も多數あるを以て指定の修繕の提出に對し編入洩れ甚だ多く之が直接現場管理に當る者困難なるため來年度より相當配當相成度し

年別	荷車	牛馬	自動車
三年	三〇三	五三	五四四
六年	三八九	二九	六七三
增減	八六	二四	一二九

尚當所管內自動車其他の數量は自動車數三八六台（內乘合二三四台、貨物自動車一六二台）牛馬車數八五六台なり外十六件

落花の風情を愛でて
明日曜の博覽會見物
豫想さるる二春棹尾の人出

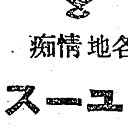
逝く春の哀傷を唆らるる間も無く、葉櫻の世界が直ぐ目の前へブラ下つた、輕い微風にセルの肌心地も良く……と云ふ氣候には未だ早いが、明日こそ今年に於ける卯月最終の日曜である、繽紛と散りしく落花の風情を愛で乍ら博覽會見物も嘸多からう、色とりどりのパラソルを翳し行く美しい人の顏を覗き込み乍ら飛んで行く燕尾服の若い燕『輕燕風を受けて斜なり』とは何と唐人一流の名形容である事よ。陽々たる春光の下にそゝり立つ而も色調の整つたHKの放送塔は、またしても『讃へよ、我が春を——』と呼びかける、行くよ入るよ、人。人。人！博覽會場附近のビック・パレード、朗かな日曜、初夏近きあすの日曜、若し夫れ天候にして支障無くんば芋の子を洗ふやうな人出の混雜は今より漫ろに想像するに難からぬものがある。

依然人の波
平驛昨今の統計

平驛の去十四日以降昨二十二日に至る三十人以上の團体數は四十六件、五千二百六十二名昨二十二日は乘四千二百四十六降四千三百十三計八千五百五十九名で依然雜踏を呈してゐる

煙草屋さん
お花見宴會

水戶地方專賣局平地方煙草小賣人百三十餘名は今二十三日平町四丁目マルトモホールに會合六月三十日滿期となる營業許可期限後の新營業方針其他に就き協議了つて松ヶ岡公園で觀櫻宴を張つた



各地情痴ニュース

△添はれず情死　東京市芝區金杉町五の一五旅館日の出館止宿千葉縣生れ大塚正五郎(二七)同佐藤とみ(三三)の兩名はカルモチンを嚥下して自殺を圖り苦悶中を女中が發見松山病院で手當中であるが生命に別條ない、兩名は豫てからの戀仲であるが添はれないのを悲觀した爲である

△困つた遊興客　岐阜縣大野郡莊川村牧戶武市方同居人伊神市朗(三四)は昨年末同村料亭寺田しよう方に出かけたところ時間がおそいとて斷られたので憤慨し表格子をメチヤ／＼に破りその足で同村河原惣十郎方に夜這ひとしやれ込んだことこの程發覺高山署へ

△駈落押へらる　岡山市上石井岡山驛裏を徘徊してゐる擧動不審の男女を驛前派出所巡査が連行取調べたところ京都市上京區阪田町高等蠶糸學生吉本豊喜(二三)女は右京區御豐國元平尾八重子(三八)で吉本の下宿先の女將であるが戀仲に落ち家出したものである

△妻を盜られて　岐阜縣養老郡高田町字朝日町飲食店田中新三郎方に於て同町居住鮮人朴在夏(五二)は同町の鮮人元平宮(二八)に西洋カミソリをもつて斬りつけたが果さず高田署員に取押へられた、原因は朴の妻藤川てつの(五四)と元との情交を恨んでこの擧に及んだ

△ピストル心中　東京府下千住町本町五の八接骨師名倉方會計高橋明(三〇)は家出したので調べたところ遺書を發見更に名倉所有のピストル實彈五發が紛失してゐるので千住署で搜査中のところ、この程千葉縣安房郡岩井町で芝　金杉二の一四寄席七福亭の娘安藤きの(二五)とゝもにピストル心中をしてゐること判明、原因は添へぬため

優良納稅表彰式
廿六日平町會議事堂で
國縣稅共擧行

平町では二十六日午前十時から町會議事堂で優良納稅組合南町一の組外九十四組及び優良管理者小野常治外四名の表彰を行ふが同時に縣知事より表彰された新川町上組外十三組、仙臺稅務監督局同上の管理者鎌田町三の組酒井龍之進外二名の表彰狀傳達式を擧行する

傳來の美田保全に
焦慮する玉川村民
水害豫防工事續行を企劃

濁流が氾濫して土砂を流し込む爲尠なからず田畑を荒された玉川村民は一昨年着工された同村矢田川筋大字大原、西橋本を起點として大字南富岡、沼之原、中島、曲淵、芳際に至る延長五百三十間の暗渠、堤防等總工費二萬二千圓の大工事完成と共に其間少からず禍根を除かれたが更に今年度工事たる大字芳際關場間二百八十間の改修が縣財政上取止めになるが如き風說あるので同村では七年度工費一萬圓中半額を縣補に迎ぎ該事業の完成を期すべく近く村會の決議を經て猛運動を起す事となつた

武道科主任會

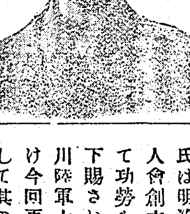
縣下中等學校武道科主任協議會は昨今兩日磐中で開催したが二十九校四十六名出席六十題近くの協議題談話題を討議した

道路工事の決定に
大喜びの勞働者
平町の鋪裝廿八萬人

現政府に於ける所謂產業開發の土木工事として總工費三十五萬三千圓を投じ着工する平町鋪裝道路工事の經過其他は大体既報の通りであるが時恰も上水道擴張工事の完成其他から近く街頭に溢れ出づる失業者の救濟に就て當局が少からず頭を惱ましてゐた折柄とて之により當面の緩和策とすべく攻究の結果該工事には少くも延人員約二十七萬九千人を使用される事となるので失業者ばかりでなく一般勞働者も大喜びである

あすの記念祝典に
「山崎氏また表彰さる」
誇るべき郡下の軍事功勞者

陸軍省では明二十四日の軍人勅諭下賜五十周年記念祝典當日を期して全國の軍事功勞者を表彰することとなつたが本郡よりは郡聯合在鄉軍人會長たる平町古鍛冶町陸軍砲兵少尉山崎淸三氏が其の光榮に浴する事になつた



氏は明治四十三年在鄉軍人會創立以來の幹部として功勞あり曩に有功章を下賜され、更に一昨年白川陸軍大臣から表彰を受け今回再復軍事功勞者として其の選に入つた名譽の士である

尚ほ表彰狀傳達式は明二十四日福島市聯隊區司令部に於て擧行すると（寫眞は山崎氏）

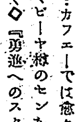
朗かに指導する
＝初登校の正木新磐女校長＝
將來の敎育方針を漏らす

新任正木磐女校長は昨二十二日午後三時五十三分平着で職員一同の出迎へを受け目下福岡高等學校三年在學中の健男中學五年の芳夫君を除きしげ子夫人以下の家族を同伴著任し城山本丸二十七番地に落着いたが

～初登校の校長は

前木村校長のお蔭で事務も整頓して居り朗かな氣分で居られる、昨年春一寸來校した事があるので土地に對する概念が無いでも無い、今後は國民的人格の養成と生活は何處迄も朗に修養練磨する事を目標として行かうと思ふ、云々

と着任早々の感想をもらした



艶罪黑白

◇ハツラツたる躍進の五月近く。輝く待望の初夏へのあこがれを一ぱいにこめた……大平町の心臟○町は賑々たる鼓動を始めた◇初夏のプロローグは沸々と泡立つ淸新なヂヨツキから……と云ふ譯でもあるまいが此の季節に魁けした甲、乙、丙…カフェーでは愈々近くビーヤ樽のセンを拔く◇『勇進へのスタ！トを直前に先づハツラツと泡立つ樽入ビールの滿きつな……然らばカップは御手に……』と云ふスローガンを揚げビーヤファンに『それツお酌よつ』てな調子。初夏は先づビーヤからかね◇主人夫婦が博覽會の出張賣店へ寢泊りして留守なのを良い事にして夫々男なくわえ込んだ二人の女給その朝もゆつくり寢込んでゐる現場を手の早い主人に發見されたから溜らない◇布とんをハグなり丁々ハツシと四つのお尻を交る／＼はれ上る程叩きつけた揚げ句問題は酒二升と詫び證文で免◇本朗かなトピックの主は某カフエーのコツクと田町邊にある某商店の不良小せがれ（何れも特に名を秘す）とある。

鐵道相手の繫爭
口頭辯論終結
廿八日愈々決定

昨年二月十五日午前三時頃播磨小路踏切に於て急行列車に觸れ轢死を遂げた平窪村中平窪松本淸作(三九)の遺族金太郎、アイの兩名から鐵道大臣相手に提起した各三千圓の慰藉料請求訴訟の第三回口頭辯論は昨二十二日午後四時平支部に於て中島裁判長係り原告代理增田門傳兩辯護人、鐵道側橫田良祐氏外三名立會開廷辯論終結となつたが判決は二十八日であると

土地賣買の事から
地主小作の反目
玉川村に一紛紜起る

玉川村大字野田農作山銀次郎は十數年前同村大和田佐久馬の保證で大字野田カキツカ三八地主永久保榮造から小作料年反當り玄米一石二斗の契約で田五反步と宅地を借り受け最近宅地丈けを買ひ受ける事に半ば交涉を進められたが價額の關係から作山は急に向を變へ大字野田の共用地を購入した爲か兩者間に一の墻壁を生じ永久保は突然該小作權を取上げて終つたので作山は某方面の應援を得て目下地主と折衝中であるが其筋では事態の惡化を怖れ監視中である

平町生れの藝妓
東京で服毒自殺

平町大工町一三生れ東京市牛込區神樂坂町三丁目二柳原伊助方藝妓鈴木きくよ(二四)は去る十九日午前六時頃カルモチンを多量に嚥下自殺を遂げた旨今二十三日平町役場に通知あつた

。。。。玉川村會　二十五日午前九時から區長推薦、戰死者箱崎光氏の村葬其他數件を附議する尚は同村では此程の村會で愛國機福島號へ各戶五十錢宛合計百五十圓を獻金する事に決定目下各種團体で醵金中

小學校遠足一束

ロロロ平第二（二十五日）行先次の如し　1公園　2龍門寺　3澤村神社　4新舞子　4閼伽井嶽　6豊間燈臺　高等1　2四倉
ロロロ第三校（二十六日）行先　1白土八幡　2専稱寺　3　4女新舞子、男白水　5　6女豊間燈臺、男赤井嶽

ロロロロロ大野耕整竣功式　大野村大字藥王寺耕地整理組合では昨年七月以降整理中であつた田畑が此程愈々竣功したので明二十四日午後一時から現場で竣功式を擧行すると

。。。。家出の伜判明　好間村椎木平小田炭礦長屋四七長門長男長谷川長男(一七)は二十日夜家出實父から平署へ搜査願中今二十三日白河署に捕はれた旨通知あり家人が引取に向つた

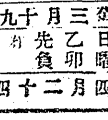
。。。。警部々査試驗　平、植田兩署の警部及警部補考査試驗は來月三日午後一時から執行する

ロロロロロ看護婦見學　豊間村縣立回春園看護婦一同は同村青年團中曾根分團長に引率され明二十四日から二日間東京方面へ見學旅行をなす

家出娘戾さる

平町古鍛冶町一四雜貨商秋本なし姪秋本よね(一七)は二十二日夜十時頃現金四十圓を拐帶して無斷家出し東京方面へ行くべく平驛待合室に列車を待合せ中平署員に捕はれた

女中入用
十六、七才位のもの一名
（炭礦社宅住込み）
姓名　在社



舊三月十九日　日曜　四月二十四日
乙卯　先負　昴宿

諸判定應需
東京市本鄉區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神誠館

▲一白の人　計畫せる事に力の及ばざる憾あり分を守れ▲二黑の人　運氣引立たず時には失敗を繰返さん凶惡日▲三碧の人　元氣が衰ひて大に努むれば思ひの外功あり▲四綠の人　心に油斷なく萬事に氣を配りて働くべき日▲五黃の人　思はしき運勢ならねど援助を蒙り福運加る▲六白の人　衰運を顧みず輕動せば失敗に失敗を重ねん▲七赤の人　諸事衰退して焦れば益々窮境に陷るべき日▲八白の人　才略に任せて事に恐れず却て不利を招く日▲九紫の人　外に出でて災を釀す家居すれば大吉日なり

タクシーの御用命は
是非尼子タクシーへ
親切安全第一を主義と致して居ります
電六四〇番
主任　澤正路

横濱植木株式會社特撰
草花、蔬菜類
優良種子
各種賣出し致しました。
農園藝やく品の御相談は
西村屋藥局
電三番

高久病院（電話五三番）
平町田町
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽淸
藥劑士　佐竹菊雄
內科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科